

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 事業所番号 | 0570108217 |
| 法人名 | 社会福祉法人 新秋会 |
| 事業所名 | グループホーム ひなた |
| 所在地 | 秋田市土崎港中央四丁目4番6号 (電話) 018-816-0577 |
| 評価機関名 | 財団法人 秋田長社会振興財団 |
| 所在地 | 秋田市御所野下堤 5-1-1 |
| 訪問調査日 | 平成21年7月16日 |

【情報提供票より】 (H21年6月19日事業所記入)

(1) 組織概要

| | |
|-------|---------------------------|
| 開設年月日 | 昭和 (平成) 15年 4月 16日 |
| ユニット数 | 1 ユニット 利用定員数計 9人 |
| 職員数 | 9人 常勤 8人、非常勤 1人、常勤換算 8.5人 |

(2) 建物概要

| | |
|------|--------------|
| 建物構造 | 木造造り |
| | 2階建ての 1~2階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|-----------------|----------|------------|----------|------|
| 家賃(平均月額) | 40,500円 | その他の経費(月額) | 300~400円 | |
| 敷金 | 有(円) 無 | | | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有(円) 無 | 有りの場合償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 400円 | 昼食 | 500円 |
| | 夕食 | 500円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり | 1,400円 | | |

(4) 利用者の概要 (6月19日現在)

| | | | | | |
|-------|----------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 9名 | 男性 | 2名 | 女性 | 7名 |
| 要介護1 | 1名 | 要介護2 | 4名 | | |
| 要介護3 | 4名 | 要介護4 | 0名 | | |
| 要介護5 | 0名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 85.7歳 | 最低 | 70歳 | 最高 | 94歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|----------------|
| 協力医療機関名 | 健生クリニック 片野歯科医院 |
|---------|----------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「いつでも自分らしく穏やかな暮らしがしたい」という理念を掲げ、日々の生活を支援している。又、職員がそれぞれのケアに対して検討を行いながら入居者個々のペースを十分に尊重した支援がされている。地域のグループホーム連絡会に加盟し、今後はさらに他のホームと交流を深め、益々グループホームとしてのサービスの質を向上させていくための努力を行っている。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 介護計画と介護記録の連動について改善課題とされていたが、現場でいろいろ作成して、職員が見やすく、動きやすいことが一番である為、よりよいものと試行錯誤しながら、検討していた。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) |
| | 様式の変更等いろいろ取組まれていた。職員間で話し合う姿勢を大切にし、評価に対して取組み、今後もよりよい支援がされることを期待する。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 運営推進会議では、行事や事故防止、感染対策、防災等について報告・話し合いをしている。運営推進会議の内容について、ミーティングを開き、情報を共有して毎日の支援に対応している。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | それぞれの入居者の様子を月に1回、郵送で伝えている。1ヶ月間の様子や病院の受診時の会話・診察内容について等、又苦情受付窓口、国保連等の公的窓口を掲示し、意見箱を設置している。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 町内会等の見学を受け入れている。近くの自衛隊の祭りや、土崎の港祭り等に参加それぞれ地域との交流が図られている。 |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 「いつまでも自分らしく、穏やかに生活したい」を理念に掲げて日々の生活の支援に活かしている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念を事務室やリビングに掲げ、日々の生活で視認したり、又毎日のミーティングの際に声に出して確認したりする等、理念を常に意識できるようにしている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町内会等の見学を受け入れている。近所の祭りにも招待されている。隣人がプランターの野菜を届けてくれて入居者が育てている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 全職員の認識のもと、スタッフミーティング等を通して改善が図られている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|----------------------|----------------------------------|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 行事や、事故防止、感染予防について対策を報告して事業に反映している。 | | |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 介護高齢福祉課、監査指導室と連絡を取りながら連携を図っている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 月1度の定期報告や面会の際に日々の様子や、病院の受診時の内容、処方等を近況報告をしている。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 面会時に、家族と話す機会を設けている。また、苦情受付窓口設置し、意見や苦情を出していただくように努めている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 18年度から異動は行われておらず入居者が安心した生活が出来るよう取り組まれている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 保有資格や経験年数、日々の業務の取り組みをみて研修に参加させている。内部学習会も実施している。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域のグループホーム間では、なかなか情報共有することができなかったが、今年地域グループホーム連絡会が立ち上がり、それに加盟し交流を図る取り組みを検討している。 | ○ | 秋田市で、今年7月9日にグループホーム連絡会が組織された。これからの取り組みに期待したい。 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している | 入居の際に家族と話し合い、馴染みのある物を持って居室の環境を整えながら少しずつ、馴染める様に努力している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 入居者、職員が一つの家の家族であるように考え、お互いが役割を持って学び支え合っている。 | | |

| 外部 評価 | 自己 評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期 待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|----------|---|---|--------------------------|----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 毎日の生活への思いや意向の把握に努めながら、入居者本位の対応に心がけている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | アセスメントをもとに、本人、ご家族の要望も聞きながら介護計画を作成している。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | ミーティング等で、定期的な見直しと共に入居者の状態に変化があった場合等ケアプランミーティングを行い介護計画の修正を行っている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 利用者、ご家族が話しやすい雰囲気づくりに努め、要望、希望があれば柔軟に対応している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|----------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 週1回から2週間に1回、定期的を受診している。ホーム向かいの協力医療機関の医師ならびに薬局管理薬剤師が当法人の役員であるため協力関係が構築されている。かかりつけ医等の要望には、ご家族と話し合い対応している。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入居前にホームの設備面等で対応の限界を伝え、将来の方向性について本人や家族と話し合いをしながら方針を共有していくようにしている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 職員それぞれが入居者の思いをしっかり受け止めて対応に努め、それぞれの誇りやプライバシーを十分に尊重した対応に努めている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居者のペースや希望に合った生活が出来るように支援されている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|---|---|----------------------|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 入居者の状態に応じて食事が考えられている。入居者の育てた野菜を食材に使用するなど、楽しみながらの食事ができている。 | | 年々咀嚼や嚥下が困難になってくるので、おやつ前だけでなく、食事前にも軽い体操を取り入れる等、より楽しく食事ができる工夫に期待する。 |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しむように支援している | 平均週3回入浴されている。希望があれば随時対応されている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 散歩や買い物などそれぞれの楽しみなど、一人ひとりの能力に応じた支援をしている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | その日の天気や気分に応じてそれぞれ出来る限りの支援をしている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている | 日中玄関にも鍵は掛けていない。居室についても鍵は付いていないので自由に出入りが出来る。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|------|--|---|----------------------|----------------------------------|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回総合防火訓練を実施している。隣近所との付き合いも深く、協力体制ができている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事、水分摂取量を把握し、記録している。それぞれの状態に合った支援をしている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 照明、カーテン等で調光している。季節感も取り入れながら生活している。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 落ち着いて生活できるように、それぞれ馴染みの物を居室に持ち込んで生活している。 | | |

※ は、重点項目。